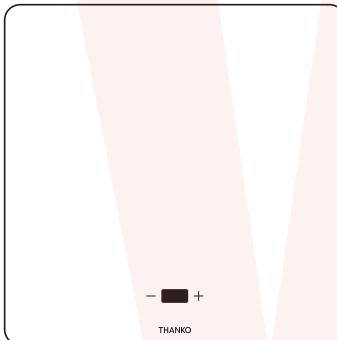


# 取扱説明書

Version 1.01n

型番: FDWRPSCWH  
FDWRPSCBK

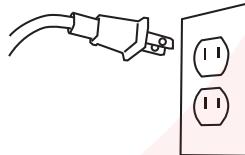


家庭用 日本国内専用  
Use only in Japan

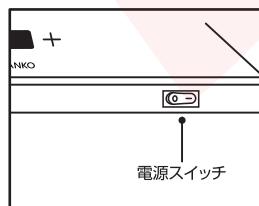
保証期間: 購入日より12ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

## ◆電源を入れる



電源プラグをコンセントに差し込んでください。



電源プラグを差しみましたら、本体側面の電源スイッチを押してください。「〇ー」と表示がありますので「ー」の方へ押すと電源が入ります。



電源が入りましたら、現在の設定温度が表示されます。

## ●故障かな?と思ったら



### ○お問い合わせ・修理をご希望される場合

<https://www.thanko.jp/view/page/support>  
にアクセスして、サポートページよりお問い合わせください。  
上の QR コードを読み取ることでもアクセスすることができます。

### ○不具合品のご送付先

ご連絡なく修理品を送付された場合、そのまま返送となります。  
必ず上記のページからお手続き後、ご送付ください。

送付先 〒275-0024 千葉県習志野市西浜 2-3-1  
宛て名 EL 内 サンコーサポート宛  
問い合わせ 03-3526-4328  
(月~金 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00  
土日祝日を除く)  
support@thanko.jp  
(自動返信にて上記URLをご案内します)

## ◆仕様 ※仕様は予告なく変更する場合がございます。

サイズ	幅215x奥行215x高さ34(mm)
重量	約840g
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約36W
稼働時間	約1時間(オートオフ機能)
フレート	ヒーター一体型
フレート温度調整範囲	約60~110°C
ヒューズ温度	約142°C
サーモスタッフ	約120°C
モード	温度調整60~110°C (5°C刻み)
コード長	約1.8m
天板素材	耐熱強化ガラス
セット内容	本体、日本語取扱説明書
保証期間	購入日より12ヶ月

## △ご注意

- 内容品に記載している以外の物は付属しません。
- 本製品をご利用において生じる物品の破損／故障は、保証の対象外となります。
- 分解しないでください。
- 落としたり強い衝撃を与えないでください。
- 高温／多湿／火気近くで保管、使用しないでください。
- 水で濡らさないでください。
- 使用中や使用後は高温部に触れないでください。
- 使用中はスプーンや金属ヘラなどを置かないでください。
- 子供が触れないようお気をつけください。
- 異常を感じたらご使用をやめてサポートセンターまでご連絡ください。
- 仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

## ●使用する (温度を設定する)



- 温めたい食品を本体の上に置きます。
- ・使用の前に天板にひびが無いか確認してください。
- ・極端に温度の低いもの、高いものを載せないでください。ガラスが割れる可能性があります。

※本製品は最大110度まで温度が上昇しますので、容器の耐熱温度にご注意ください。



やけどの危険  
使用中や使用後しばらくは表面本体に触れないでください。

温度を上げたい場合は温度上昇ボタンを、温度を下げたい場合は温度下降ボタンを押してください。

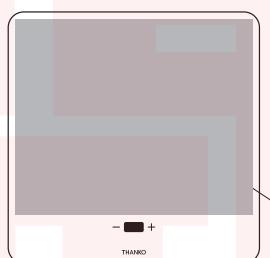


数字が点灯 → 15秒後 LOC 表示 → 数字が点灯

温度表示の数字が点灯し温度が設定されます。そのまま15秒後に温度がロックされ「LOC」表示になります。ロックの状態では温度上昇ボタン / 温度下降ボタンを押しても温度設定はできません。各ボタンを3秒以上押し続けるとロックが解除され設定可能になります。

※連続で1時間以上使用した場合は自動的にヒーターは動作を停止し「OFF」の表示になります。

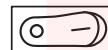
## ◆使用する (ヒーター範囲について)



ヒーターの範囲(温まる範囲)はおむね図の範囲内です。食品を置く際はこの範囲内に置いてください。

ヒーター範囲

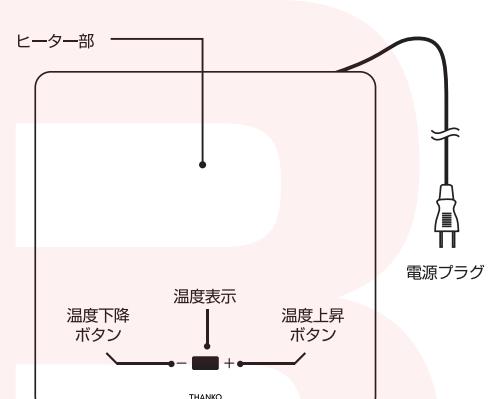
## ◆電源を切る



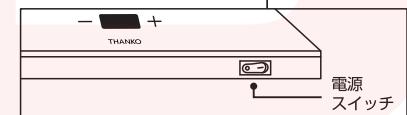
電源スイッチの「〇ー」表示の「〇」の方へスイッチを押してください。電源が切れます。長時間使用しない場合は電源プラグを抜いてください。電源を切る際はヒーター部に触れないようお気を付けください。

## ◆内容品 / 各部名称

### ●本体側面



### ●本体正面



## △警告

お手入れをする前に電源が切れていることを確認し、必ず電源プラグを抜いてください。感電やけがのおそれがあります。お手入れの際は、必ず本体が冷めた状態で行ってください。

## △注意

以下のものは使用しないでください。  
塗装面やプラスチックを傷めます。  
みがき粉、粉石けん、アルカリ性洗剤、ベンジン、石油、酸、熱湯、たわしなど

本体のガラス面は、薄めた中性洗剤に浸した布を固く絞り、汚れを拭き取ったら、乾いた布でもう一度拭き取ってください。

※本製品は防水機能はありませんので、本体が水で濡れないようお気をつけください。

※必ず電源プラグが抜けていることをご確認下さい。  
※裏面は水に弱いので乾拭きしてください。

※容器の対応可否についてはご利用いただく食器や鍋メーカーへご確認ください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

## △警告

 分解や修理、改造をしない  
火災・感電の原因

 AC100V以外では使わない  
(日本国内100V専用)  
感電・漏電・火災の原因。

 電源コードは破損したまま使わない。  
電源コードを傷つけない。  
束ねない、無理に曲げない、傷つけない、  
加工しない、重い物を載せない、挟み込まない、引つ張らない、ねじらない、コードを持って電源プラグを抜かない。  
感電・漏電・火災の原因。

 電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る  
火災・感電の原因

 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く  
感電・発火の原因。

 身体的、感覚的または精神的に能力が低下している方、お子さまは本製品を使用しない。  
感電・やけど・けがのおそれ

 表面にひび割れがある場合は本製品を使用しない。  
感電・やけど・事故・けがのおそれ

 電源プラグは根本まで確実に差し込む  
火災・感電の原因。

 電源ケーブルが傷んでいたり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない  
感電・ショート・発火の原因。

 ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない  
感電・けがのおそれ。

 水につけたり、水をかけたりしない  
感電・ショート・故障のおそれ。

 製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因。

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいかがする
- ・本体が動作しないなど

上記のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。

●表示の説明

## △警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

## △注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

## △注意

 カーテンなどの可燃物のそばで使わない  
火災のおそれ。

 タコ足配線はしない  
火災のおそれ。

 運転中に移動させない  
けが・やけどの原因。

 不安定な場所や、熱に弱いテーブルや敷物などの上で使わない  
火災の原因。

 壁や木製家具の近くでは使用しない  
壁や家具の劣化のおそれ。火災・変色の原因。

 使用中は本体から離れない  
長時間温めすぎると食品が焦げたり発火するおそれ。必ず本体のそばにいて異常がないか様子を見ながら使用すること。

 缶、瓶を温めない。  
破裂・やけど・けがのおそれ

 保温以外の用途で使用しない。  
故障・やけど・けがの原因

 浴室など湿気の多い場所、雨や水のかかる場所では使用しない  
ショート・感電・火災の原因

 家庭用にのみ使用する  
製品寿命を保つため

 热に弱い容器などは載せない  
溶け・変形・有毒ガスのおそれ。

 使用中や使用後しばらくは本体、表面に触れない  
やけどの原因。

 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く  
けが・やけど絶縁劣化による感電・漏電火災の原因

 電源コードに足を引っかけないように注意する  
(製品が落下し故障、転倒しがの原因)

 お手入れの際は有機溶剤(ベンジン、シンナー、石油等)、薬品類(漂白剤、消毒液等)、研磨剤は使用しない。  
変形・変色・故障の原因。

 やけどのおそれあり  
熱くなっている可能性があるので、触らないように注意してください。

 感電のおそれあり  
本体を水につけたり、水をかけたり丸洗いしない。

 火災のおそれあり  

- ・不安定な場所で使用しない。
- ・家具や壁の近くで使用しない。
- ・使用中はそばから絶対に離れない。
- ・分解や改造をしないでください。
- ・本来の目的以外の使い方をしないでください。

 やけどのおそれあり  

- ・使用中や使用後は高温部に触れない。
- ・使用中に金属ヘラ・スプーンなどを置かない。
- ・子供や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない。